



浜町地区にての佐賀中学校生徒の家具固定の様子

や工事の補助申請の対象外でしたが、県が認めてくれたので、町内42カ所の二次避難所に加えて整備が出来るようになったものです。

■家具転倒防止対策補助金

20万円

佐賀地区で、家具転倒対策が普及して、今年度、50件程度が上がる勢いで対策が進んでいるという見習うべき実績の説明がありました。

■西南大規模公園施設使用料

17万円

土佐西南大規模公園人工芝グラウンドが完成し、観光面だけでなく、町民のスポーツ振興のためにも活用することになり、子どもたちのスポーツクラブの利用料金は、町が負担するものとなり、半年分の予算を計上しています。

■スポーツ団体送迎バス運 hands 賃金

17万円

佐賀地区の子どもたちが施設を利用する時のバスの運転手の賃金も計上しています。

中学生の人工芝グラウンド使用については、これまで同様、公園管理者の請求に基づき教育委員会が支払っていくとのこと

●幡多広域市町村圏事務組合規約の一部変更

租税債権管理機構へ移管している住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税の4税に加えて、介護保険料、

後期高齢者医療保険料、保育料の徴収を移管します。委員からは、適切に徴収努力を行い、安易に移管しないようにとの意見が出されました。

産業  
建設  
厚生

常任委員会

平成28年度一般会計決算

ふるさと納税1億4千万円



委員長 藤本 岩義 (いわよし 藤本 岩義)

1万円や人件費その他を含め1億2173万円あり、実際の収入は2326万円となりました。しかし、町産品が返礼品として7247万円も送れたことは特筆すべきことです。

●平成28年度一般会計決算

■ふるさと納税

ふるさと納税は28年度、1万1千件、1億4497万円歳入がありました。歳出は返礼品関連で829

■水産振興費

田野浦避難道の測量をしました。今後、漁業集落整備事業を導入するためのものです。リマ周辺対策事業で地震に備え佐賀漁港へ地下埋設の燃料タンクが5473万円で完成しました。

平成28年度  
特別会計決算

●住宅新築資金等貸付事業

貸付金の徴収と起債の償還業務のみです。

●国民健康保険事業

歳入22億2499万円、歳出23億3227万円で1億728万の不足が生じたため平成29年度会計から繰上充用し補填しています。税の改正もあつたため平成27年度に比べ1613万円の増額となっています。また、医療費は平成27年度に比べ6242万円、一人あたり3千円の減額となつていきます。

●国民健康保険直診

常勤医師不在で医師3名の代診委託で診療をしています。

●介護保険事業

前記2決算共に例年と特に変わりません。